

小林市立 **こすもす** 学校だより
 幸ヶ丘小 2年 第12号
 R2. 11. 16発行
 ホームページ=https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1410/htdocs/ 文責：阿南 栄三

11月も半ばを過ぎました。新型コロナウイルスの影響で諸行事が延期や中止になっていましたが、ようやく元の姿に近い形で諸行事を行えるようになってきました。嬉しいことです。しかし、日本も含め、世界中では感染が拡大しているようです。今までと同じように感染予防の意識を高めながら対策を行い、ウィルスの活動が活発になる冬を迎えることが大事ですね。これからも健康管理に気を遣い、元気に登校して欲しいと思います。ご家庭でもご協力よろしくお願い致します。

幸っ子たちはどうしてた？
 ～ 行事の中の子どもたち ～

幸っ子フェスタ (10/29:木)
 ものづくりマイスターとともに:造園

参観授業…(上から) 学活・音楽・社会

昔のおもちゃづくり↑
昔の遊び↓

交流給食 無言で…

修学旅行 (11/5/・6:木・金)

県庁で、みやざき犬のひいくん とともに…

平和台でパチパチ。
ホテルで
いただきま〜す。
カヤックで
ビショビショ。

音楽大会 (11/13:金)

★練習の成果を発揮し、見ている人たちに、感動を与える素晴らしい演奏を披露しました。

「世界地図から見えるもの…」

10月30日(金)の全校朝会で子どもたちに話した内容です。
 世界地図には以下のようなものがあります。①は日本付近が真ん中にある。②はヨーロッパが真ん中にある。(日本は東のはしっこ=極東) ③は①の地図が逆さまになっている。



さて、私たちは①の地図を見慣れていますが、②や③はめったに見ることはありません。つまり、**私たちに①の地図が当たり前、常識になっている**のです。しかし、ヨーロッパの人から見ると、私たちが②の地図に違和感をもつと同じように、①の地図には違和感をもつかも知れません。では、③の地図はどうでしょうか？ 私たちも、ヨーロッパの人たちも違和感をもつのではないのでしょうか。実は③の地図はオーストラリアで観光用に売っている地図です。オーストラリアの人たちにとっては、地図ではいつも下に見られている…と感じているのかもしれない。

立場が変われば見方、考え方は変わります。そうすると④のような地図(アメリカが真ん中)もできます。
 自分の視点(見方、考え方など)でしか物事を見ていないということは、相手のことは考えていないということにつながっていくのではないのでしょうか。

自分(たち)と考えや意見がちがうから…。自分(たち)はまちがっていない、正しいから…。と思っているとトラブルになることがあります。相手のことを分かっているかな？ 分かろうとしているかな？ 相手のことを受け入れているかな？ 受け入れようとしているかな？ と一度立ち止まって考えるとトラブルにはならないのではないのでしょうか。

すべての人が自分にとっての常識が相手にとっての常識ではないことに気づくことができれば、世界はもう少し平和になるかもしれない…と思います。

